

2025年11月28日

グロービス経営大学院

ニュースリリース

グロービス経営大学院の MBA単位取得可能な「ナノ単科」に「会話型AI演習」を導入！ 「生成AI時代のビジネス実践入門」科目を2026年1月期より新設

グロービス経営大学院（東京都千代田区、学長：堀義人）は、動画とAIで学ぶMBA単位「ナノ単科」で「生成AI時代のビジネス実践入門」を2026年1月期に新たに開講します

「生成AI時代のビジネス実践入門」は、生成AIを協働パートナーと捉え、ビジネスに新しい価値をもたらす思考法を学べる講座です。「動画×AIによる実践演習×ライブ授業×グループワーク」という新たな方法で、6週間の短期集中で学習することができます。

またグロービス独自のAIラーニングシステムの進化版「GAiL-3.0」を活用した「会話型AI演習」を「ナノ単科」の一部科目^{*1}で新たに導入、今後は他の科目でも順次展開を予定しています。

^{*1} 2025年11月時点では「リーダーシップ・キャリアビジョン入門」



■背景

文章や画像、映像など、さまざまなコンテンツを生み出す「生成AI」は、近年急速に進化しています。企業では、AIを活用した業務効率化にとどまらず、商品開発・マーケティング・経営戦略など、あらゆる領域での実装が進みつつあります。それにあわせ、ビジネスの現場では「生成AIを使いこなすスキル」から「生成AIと協働し新たな価値を創る力」への転換が求められています。一方で、AIを正しく理解し、実務に落とし込める人材は依然として不足しています。

こうした中、ビジネスパーソンがAIの仕組みや限界を理解した上で、自らの仕事や組織にどう活かすかを考える“AIリテラシー×実践力”が不可欠となっています。グロービス経営大学院では、AIを単なるツールではなく「共に価値を生み出すパートナー」と位置づけ、AI時代における新しいビジネスリーダー像を育むための教育に取り組んでいます。

本科目では、AIを活用してビジネスに新しい価値をもたらすための思考法とスキルを身に付けることができます。まずはAIの基礎的な仕組みを押さえた上で、実践的な演習を通じて活用法を習得します。そして最新事例の学

習を通じて、生成AI時代のビジネス環境の変化との向き合い方を学び、実務で成果を出すための思考力を身に付けます。

■2026年1月期 新設科目詳細

生成AI時代のビジネス実践入門: <https://info.nano.globis.ac.jp/courses/nab>

本科目では、生成AIを活用してビジネスに新しい価値をもたらすための思考法とスキルを身につけることができます。専門的なプロンプト・エンジニアリングや特定のAIツールの習得ではなく、生成AIの基本原理と活用方法を理解し、身近な場面での活用のきっかけを得ることを目的とします。

カリキュラムを通じて、以下3点の達成を目指します。

- ①生成AIの基礎的な仕組みを押さえた上で、実践的な演習を通じて活用法を習得
- ②最新事例の学習を通じて、実務で成果を出すための思考力を身につける
- ③生成AI時代のビジネス環境の変化との向き合い方を学ぶ

受講対象者は「生成AI活用スキルを習得し、キャリアアップにつなげたいと考えている方」「生成AIに関心はあるが、何から学べば良いか分からない方」「日々の業務改善や、チームの生産性向上に関心がある方」など、ビジネスにおける生成AIの活用に関心がある方を想定しています。

- 開講日: 2026年2月2日
- 応募締め切り: 2026年1月11日
- 期間: 2026年2月2日-3月15日(6週間)
- 場所: オンライン
- 取得単位: 0.5単位
- 入学金: 無料 受講料: ￥40,000

登壇教員のプロフィール



本松 晋作
早稲田大学理工学部卒業
グロービス経営大学院経営研究科経営専攻修了 学位:MBA

新卒でソニーに入社し、WalkmanやBlu-rayなどのAV製品における経営企画や商品企画を担当。その後、マレーシア現地法人で多国籍チームとサプライチェーン改革や工場運営を推進し、異文化環境での実践的なマネジメントスキルを磨く。並行してMBAを取得し、楽天では欧州事業の戦略立案・事業推進に携わり、グローバルビジネスの最前線を経験。現在はソフトバンクグループ企業のSBC&S株式会社で執行役員(新規事業担当)として、キャッシュレス決済や店舗DX、ヘルスケア領域を中心に事業開発と拡大に奔走中。グロービス経営大学院では「クリティカル・シンキング」「マーケティング・経営戦略基礎」などの科目の他、「テクノベート^{*2}」領域の科目を担当。また、マネジメント層向けの論理思考やファシリテーションに関する研修にも登壇。

*2 テクノロジーとイノベーションを組み合わせた造語

●関連記事(オウンドメディア「LOBIS 学び放題×知見録」)

生成AI時代にどう生き残る？不安をワクワクに変える「Try and learn」

URL: <https://globis.jp/article/thm2iaww0/>

■ナノ単科の特徴

ナノ単科は、動画やAIによる実践演習・ライブ授業・グループワークを組み合わせ、6週間・オンラインでMBAの基礎知識を習得できるプログラムです。

ナノ単科プログラムを通して修得した単位は、グロービス経営大学院の卒業に必要な単位として認められ、単科・MBAへと継続学習ができます(ただしMBA入学時には入学審査が必要)。受講者は、ナノ単科1科目修了につき、大学院の単位0.5単位を取得することが可能です。

グロービス経営大学院では、2017年2月にグロービスAI経営教育研究所(略称GAiMERi)を開設。GAiMERiの研究を活かし、AIやテクノロジーを使った創造と変革、すなわちテクノバートを担う次世代ビジネスリーダーの育成を推進、最先端の技術や手法を取り入れた教育プログラムを提供しています。

ナノ単科の学習サイクルにおける「AIによる実践演習」には、GAiMERi開発のAIラーニングシステム「GAiL」を活用し、AIによるフィードバックをもとに学習を進めることを可能としています。さらに2023年3月には、「ChatGPT」を活用した対話型の学習システム「LOBIS AI Chat Learning(略称GAiChAL、ガイチャル)」を開発し、世界に先駆けて「ナノ単科」に実装しました。

また2025年7月、新たなAIコーチング機能「GAiC(LOBIS AI Coaching)」を開発。受講者の職種や経歴、学習動機といった個別情報をもとに、一人ひとりに最適化されたフィードバックが可能となり、よりパーソナルで効果的な学習体験を実現しています。さらに同年9月より同機能に「キャリア支援機能」を搭載し、AIが一人ひとりの課題・スキル・学習目的を分析し、キャリア課題の整理や成長の方向性を提案できるようになりました。

ビジネス環境の変化が加速する中、グロービス経営大学院は、新時代に必須の経営知とビジネススキルを学ぶ機会を拡充していきます。

■AIラーニングシステム「GAiL-3.0」をリリース、「会話型AI演習」としてさらに進化

ナノ単科では、すべての科目において、AIラーニングシステム「GAiL」を活用した実践演習を組み込んでいます。「GAiL」は、グロービスAI経営教育研究所(略称:GAiMERi)が開発し、2022年4月に特許を取得した記述式AI学習システムです。AIによるフィードバックをもとに学習を進める仕組みを備えており、学習者は自身の回答に寄り添った解説やアドバイスを受けながら、理解を深めることができます。

さらに、2025年10月期開講科目の「リーダーシップ・キャリアビジョン入門」において、進化版である「GAiL-3.0」を用いた演習の提供を開始。「GAiL-3.0」では、グロービス経営大学院がこれまでに培ってきた教授法の設計書をデータとして活用することで、教室での対話により近い会話とフィードバックを実現しました。「GAiL-3.0」を用いた演習の導入により、学習者は自身の発言(回答)に即した反応を即座に受け取るという、適度な緊張感の中で、知識の定着と実践的な活用に向けた効果的なトレーニングを行うことが可能になります。今後は、他の科目への展開も順次進めていく予定です。

「GAiL-3.0」を活用した「会話型AI演習」の特徴は、AIとの自然な会話を通して学びを深めることができる点です。先行して導入した「リーダーシップ・キャリアビジョン入門」では、ミニケース・ディスカッション型を中心に、ロールプレイ型や内省支援型など、学習の目的に応じた形式を採用。学習者一人ひとりに最適化された、パーソナライズドな学習体験を提供しています。

デリバリーサービス導入プロジェクト

地域密着型のスーパーマーケット「ひばりマート」の太田新店长は、顧客満足度向上のため、デリバリーサービスの導入プロジェクトを立ち上げた。ひばりマートは長年地域に根差した経営をしており、来店客からの信頼は厚い。しかし、近年はネットスーパーや大手チェーン店の進出により競争が激化していた。特に、共働き世帯や高齢者層が増加している地域特性を考えると、デリバリーサービスの導入は喫緊の課題だった。しかし、店舗内での商品のピックアップや梱包、配送ルートの最適化といった新たな業務フローの構築は、従業員にとって大きな負担となることが予想された。

中略

その通りですね。太田店长は「地域ナンバーワン」という高い目標を掲げて、その実行方法を島村さんに任せていました。では、このような太田店长のリーダーシップの特徴を、もう少し具体的に言葉で表現するとどうなるでしょうか？

部下に全てを任せるタイプ

8

「全てを任せる」というのは一面ですね。ただ、太田店长は「全て」を任せていたのでしょうか？彼が島村さんに明確に示していたものは何でしょうか？逆に、島村さん自身に考えさせようとしていたものは何でしょうか？

実行の方法は考えさせようとしていました

8

中略

素晴らしいです、田中さん。島村さんの「真面目で経験も豊富だが、新しいことに対して慎重」「自律的な思考・行動への不慣れ」「指示待ちの傾向」といった特性を捉えることができましたね。これらがリーダーシップスタイルを考える上で重要な「部下の適合要因」になります。パート2はここまでとしましょう。次のパートでは、このケースを取り巻く環境要因について考えていきます。

パート3に進む

演習の題材となる
ミニケース（抜粋）

AI（ファシリテーター役）
との会話

教室での議論のような自然な双方向のやり取り

次のパートへ

そのパートの到達目標を達成したとAIが判断したら先に進む

AIラーニングシステム「GAiL3.0」 会話型AI演習例

「GAiL-3.0」は、AIを活用し、学習者一人ひとりの理解度に応じた対話とフィードバックを提供することで、学習者が自身の経験を活かしながら学べる“学習者中心の学び”を実現するための取り組みの一環です。グロービスは今後も、AIを活用した教育の革新を通じて、学びの質と可能性を拡張してまいります。

■2026年冬開講のナノ単科提供科目

「ナノ単科」では、[「生成AI時代のビジネス実践入門」](#)に加え、リーダーシップ・キャリアビジョン入門、戦略思考入門、アカウンティング入門、クリティカルシンキング入門、マーケティング入門、データ・アナリティクス入門、デザイン思考入門など8科目を2026年冬に開講する予定です。

1. [リーダーシップ・キャリアビジョン入門](#)

リーダーシップを発揮して組織・メンバーを動かすための基本的な考え方を学ぶとともに、リーダーとしての自分自身のキャリアについて考えを深めていきます。

2. [戦略思考入門](#)

戦略的に意思決定をするための思考法を身に付けるとともに、自身のキャリアを戦略的に考え、必要な能力開発を構想していきます。

3. [アカウンティング入門](#)

ビジネス活動とアカウンティングのつながりを理解するとともに、身近な場面でのアカウンティングの活用イメージを具体化させていきます。

4. [クリティカルシンキング入門](#)

問題解決力やコミュニケーション力、意思決定力など、多くのビジネススキルのベースとなる論理思考力の基礎を学び、「正しい問いを立てる力」を身に付けることができます。

5. [マーケティング入門](#)

ビジネスの価値を創造するための、実践で活用できるマーケティング的視点(モノの見方・考え方)を身に付けるとともに、顧客体験価値の重要性を学びます。

6. [データ・アナリティクス入門](#)

データを分析するために必要なフレームワークや考え方を理解するとともに、データに基づく意思決定の基礎を身に付けることができます。

7. [デザイン思考入門](#)

実在する企業事例を通じて、デザイン思考の基礎的なプロセスと手法を習得します。

8. [生成AI時代のビジネス実践入門](#)

生成AIを協働パートナーと捉え、ビジネスに新しい価値をもたらす思考法を学びます。

【詳細とお申込みはこちら】

<https://glob.is/nano>

【お問い合わせ】

グロービス経営大学院 ナノ単科事務局 E-MAIL: support@nano-mba.zendesk.com

◇グロービス サービス展開



グロービスでは、一人ひとりの課題や学習スタイルに合った方法で学び始めて、段階的にビジネスの実践力を身に付けていただけるようにサービスを展開しています。オウンドメディア「GLOBIS学び放題×知見録」と定額制動画学習サービス「GLOBIS 学び放題」で知識の習得を、AIと動画で学ぶグロービス経営大学院「ナノ単科」で実践への助走を、クラスでのディスカッションを通して学ぶ3カ月のグロービス経営大学院「単科」、2年間のグロービス経営大学院「本科」で本格的な実践力を身に付けることができます。

◆グロービス経営大学院

([日本語プログラム](#) | [英語プログラム](#))

グロービス経営大学院は、2006年の開学以来「能力開発」「人的ネットワークの構築」「志の醸成」を教育理念に掲げ、ビジネスの創造や社会の変革に挑戦する高い志を持ったリーダー輩出のために尽力しています。国内では東京・大阪・名古屋・福岡・オンラインの5キャンパスおよび仙台・水戸・横浜の特設キャンパスを開設。さらに海外ではシンガポール・バンコク・サンフランシスコ・ブリュッセル・マニラに開講拠点があります。

2006年開学当初78名だった入学者数は、2025年4月には日本語MBAプログラムで943名に達しました。在校生・卒業生は合計1万3,000人を超え、日本最大のビジネススクール*に成長を遂げています。英語MBAプログラムは、パートタイム&オンラインMBAプログラム、フルタイムMBAプログラムを展開し、世界各国から多様な学生が集まっています。グロービス経営大学院は、今後も創造と変革を担うビジネスリーダーを育成し、テクノバート時代の世界No. 1MBAを目指していきます。

* 参考:文部科学省「令和7年度専門職大学院一覧」

◆グロービス (<https://globis.co.jp>)

グロービスは1992年の設立以来、「経営に関するヒト・カネ・チエの生態系を創り、社会の創造と変革を行う」ことをビジョンに掲げ、各種事業を展開してまいりました。「ヒト」の面では、グロービス経営大学院に加え、スクール型研修や集合研修など法人向け人材育成サービスを展開するグロービス・コーポレート・エデュケーション、e

ラーニングや定額制動画学習サービス「GLOBIS 学び放題」などを提供するグロービス・デジタル・プラットフォームにより、リーダーの育成を推進しています。「カネ」の面では、ベンチャー企業への投資・育成を行うベンチャー・キャピタル「グロービス・キャピタル・パートナーズ」を運営、「チエ」の面では、出版事業ならびにオウンドメディア「GLOBIS 学び放題×知見録」を通じて知の発信を行っています。さらに社会における創造と変革を促進するため、一般社団法人G1によるカンファレンス運営、一般財団法人KIBOW による震災復興支援および社会的インパクト投資などの活動を展開しています。

グロービス:

学校法人 グロービス経営大学院

・日本語(東京、大阪、名古屋、福岡、オンライン)／英語(東京、オンライン)

株式会社 グロービス

- ・グロービス・エグゼクティブ・スクール
- ・グロービス・マネジメント・スクール
- ・企業内研修
- ・出版／電子出版
- ・「GLOBIS 学び放題×知見録」／「GLOBIS Insights」
- ・「GLOBIS 学び放題」／「GLOBIS Unlimited」

グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社

顧彼思(上海)企業管理諮詢有限公司

GLOBIS Asia Pacific Pte. Ltd.

GLOBIS Asia Campus Pte. Ltd.

GLOBIS Thailand Co., Ltd.

GLOBIS USA, Inc.

GLOBIS Europe BV

GLOBIS Manila Inc.

PT. GLOBIS INDONESIA HUB

その他の活動:

- ・一般社団法人G1
- ・一般財団法人KIBOW
- ・株式会社茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント
- ・株式会社LuckyFM茨城放送

【取材に関するお問い合わせ先】

グロービス 広報室 担当:土橋涼

E-MAIL: pr-info@globis.com